

ボランティアセンター日誌

波賀の秋を盛り上げる

銭太鼓

10月2日(土)

銭太鼓グループ親和会しんわかいの練習があると聞き、有賀公民館へうかがった。

親和会の活動は、有賀の皆さんを中心に平成14年に始まった。きっかけは「自分たちの健康づくりになればと思って」とのこと。

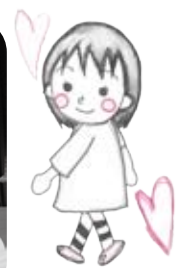
「新しい曲や動きを覚えるのは大変。でも年数を重ねるうち、上達していると感じられる」「波賀町音頭など地域の曲に挑戦し、福祉施設や地域の行事に参加する回数が増えた。相生に行ったこともある」と皆さん。



銭太鼓が当たるとアザになることもあり、練習中は真剣そのもの。しかし、休憩時には会話と笑い声が絶えず、和やかな雰囲気が伝わってきた。

波賀町には地域ごとに銭太鼓グループが6つあり、敬老大会やむつみ園での行事には、グループの枠を超えて参加され、波賀町の秋を盛り上げていただいています。

(波賀支部 岩井希望のぞみ)



ぼらんちゃん

ボランティアセンター日誌

地域のために
できることを!

笑顔で奉仕作業



10月28日(木)

11月1日から始まるはりま自立の家のオープンハウスを前に、一宮ボランティア連絡協議会による清掃奉仕活動がこの日行われた。

冷たい秋雨の降るあいにくの天気にも関わらず、ボランティア連絡協議会の会員66名が参加された。

作業は窓拭きや草刈りが中心で、短時間でとてもきれいになった。

参加された方は、「利用者さんに声を掛けてもらい、楽しくできた」「施設に出向いて行くことは中々ないので、今までより身近に感じる」と有意義な活動に満足された様子だった。自立の家のスタッフや利用者からは、たくさんの「ありがとう」の言葉をいただき、施設内に笑顔があふれた一日となった。

参加されたボランティアのみなさん。ありがとうございました。

(一宮支部 田中祥仁)

ボランティアセンター日誌 雨にも負けず、

第5回

山崎ボランティアフェスタ開催!!



10月24日(日)

大栗防災センターにて山崎ボランティア連絡会主催のフェスタが開催され、約300人の参加があった。

「西町獅子舞の会」の元気な子ども獅子舞で始まり、ボランティアグループをはじめ障がい者施設・作業所の活動紹介や体験コーナー、バルーンアートショーなど交流も深まるにぎやかな一日となった。

このフェスタがきっかけとなって、さらに「ボランティアの輪」が広がり活躍の場が増えていく事を期待します。

(山崎支部 森井裕矢)

読者の
感想より

今月の特集を読んで、赤い羽根共同募金の活動やしぐみが良く理解できました。これからも共同募金に協力して行こうと思います。(一宮町 女性)

こんにちは!
社協です!!